2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

対象期間：2025年4月1日－12月31日

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
2026年2月4日

PRIME：8242

本資料に記載された情報については、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いませんので、ご承知おき下さい。
また、本資料の著作権は全て当社に帰属し、著作権法に定める私的利用の範囲を超えて無断で、複写・転載等することを禁じます。

3Q決算ダイジェスト

業績

- 【連結】3Q累計営業利益は減益となるも、会社予想を上回る進捗
- 【百貨店】前年1Qインバウンド売上急伸の反動減や阪急本店の改装に伴う売場縮小の影響により、3Q累計で減収減益
- 【食品】食品スーパーの既存店売上が引き続き堅調。3Q累計で増収増益。

業績予想

- 連結営業利益は3Q累計で会社予想を超過したものの、中国からの訪日客の動向や3月まで続く阪急本店の改装工事影響を鑑み、通期連結業績予想は据え置き
- 年間配当は期初公表通り、前年から2円増加の44円を計画

2026年3月期(2025年度) 第3四半期累計業績

		(対前年) 上段:増減率 下段:増減
総額売上高	8,728億円	▲0% ▲11億円
営業利益	253億円	▲13% ▲36億円
当期純利益	290億円	▲23% ▲85億円

2026年3月期(2025年度) 業績予想

		(対前年) 上段:増減率 下段:増減
総額売上高	11,630億円	+0% +34億円
営業利益	300億円	▲14% ▲48億円
当期純利益	240億円	▲31% ▲108億円

© 2026 H2O Retailing Corporation

- まず、第3四半期決算についてご説明いたします。

- 連結営業利益は、前年同期比で36億円の減益となりましたが、会社予想は上回っており、概ね想定通りの進捗となっております。

- セグメント別に申し上げますと、百貨店事業は、前年第1四半期にインバウンド売上が大きく伸長したことによる反動に加え、阪急本店の改装工事に伴う売場縮小の影響もあり、減収減益となりました 。
- 一方、食品事業では食品スーパーの既存店売上が引き続き堅調に推移しており、増収増益となりました。

- 通期の連結業績予想については、インバウンド売上の不透明感や阪急本店の改装工事影響を鑑み、据え置きとしました。
- なお、年間配当につきましては、予定通り2円増配の44円を計画しております。

Contents

1. 2026年3月期 第3四半期業績
2. 2026年3月期 業績予想
3. Appendix

 © 2026 H2O Retailing Corporation

- ここからは、「2026年3月期 第3四半期業績」・「2026年3月期 業績予想」の順にご説明いたします。

連結業績

▶【3Q累計】前年1Qのインバウンド売上急伸の反動減や阪急本店の改装工事影響により百貨店事業が減益となり、連結全体の利益を押下げ

▶【3Q期間】営業利益は前年を下回るも、堅調な食品・商業施設事業を中心に全てのセグメントが会社予想を上回る政策保有株式売却益(25年10月公表)の計上により、当期純利益は大幅に増加

(単位:億円)

	1-3Q				3Q			
	24年度	25年度	前年増減率	前年増減	24年度	25年度	前年増減率	前年増減
総額売上高	8,740	8,728	▲0.1%	▲11	3,155	3,174	+0.6%	+19
売上高	5,149	5,159	+0.2%	+10	1,836	1,828	▲0.4%	▲8
営業利益	289	253	▲12.6%	▲36	139	134	▲3.5%	▲5
経常利益	300	265	▲11.5%	▲35	140	141	+0.5%	+1
当期純利益	375	290	▲22.7%	▲85	104	221	+112.2%	+117

© 2026 H2O Retailing Corporation

- 連結業績についてご説明いたします。
- ダイジェストでもご説明しました通り、第3四半期累計では、インバウンド売上の前年からの反動減や阪急本店の改装工事といったマイナス影響を受けた百貨店事業が減益となったことが、連結営業利益を押下げました。
- 一方、第3四半期期間では、営業利益は前年同期比で5億円の減益となったものの、堅調なパフォーマンスが続く食品事業や商業施設事業を中心に、全てのセグメントが想定を上回りました。
- また、当期純利益は、10月に公表しました政策保有株式の売却益を計上したことにより、前年を大きく上回る水準となりました。

2026年3月期 第3四半期業績

セグメント別業績

（単位:億円）

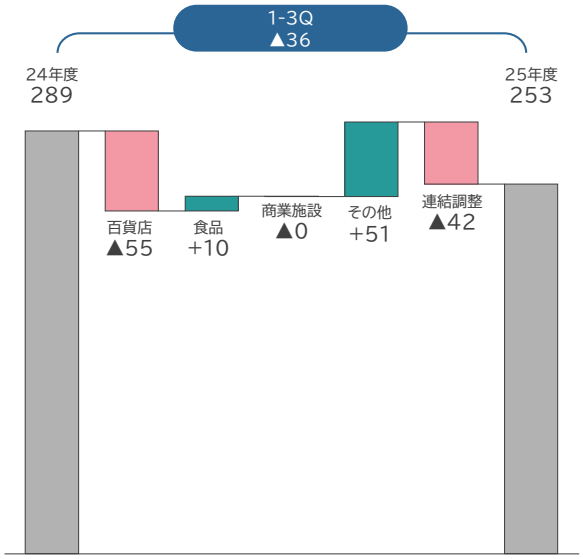
	1-3Q				3Q			
	24年度	25年度	前年増減率	前年増減	24年度	25年度	前年増減率	前年増減
百貨店	4,816	4,633	▲3.8%	▲183	1,766	1,767	+0.0%	+1
食品	3,242	3,297	+1.7%	+55	1,130	1,137	+0.6%	+6
商業施設	247	228	▲7.5%	▲19	87	81	▲6.8%	▲6
その他	435	570	+31.2%	+136	172	190	+10.4%	+18
総額売上高	8,740	8,728	▲0.1%	▲11	3,155	3,174	+0.6%	+19
百貨店	233	178	▲23.6%	▲55	107	95	▲10.3%	▲11
食品	69	79	+14.5%	+10	32	37	+15.3%	+5
商業施設	34	34	▲0.2%	▲0	12	13	+2.8%	+0
その他	36	87	+142.1%	+51	▲12	▲6	–	+5
連結調整	▲82	▲124	–	▲42	▲0	▲5	–	▲4
営業利益	289	253	▲12.6%	▲36	139	134	▲3.5%	▲5

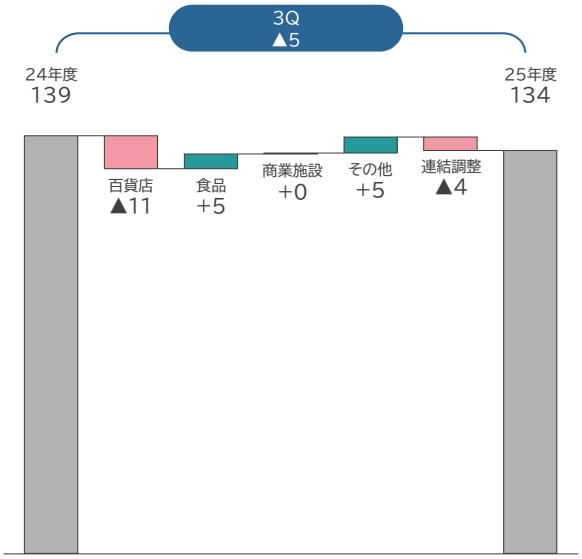
© 2026 H2O Retailing Corporation

- セグメント別業績については、ご覧のスライドの通りです。

セグメント別業績－営業利益増減要因（対前年）

（単位：億円）





© 2026 H2O Retailing Corporation

百貨店セグメント

▶【3Q累計】前年1Qの高いインバウンド売上の反動減と阪急本店の改装に伴う売場縮小影響により減収減益

▶【3Q期間】インバウンド売上は11月下旬以降に減速、国内売上は堅調となった一方で、前年実績のないシステム費(前年4Q POSレジ切替え)や人件費等の販管費増により減益

(単位:億円)

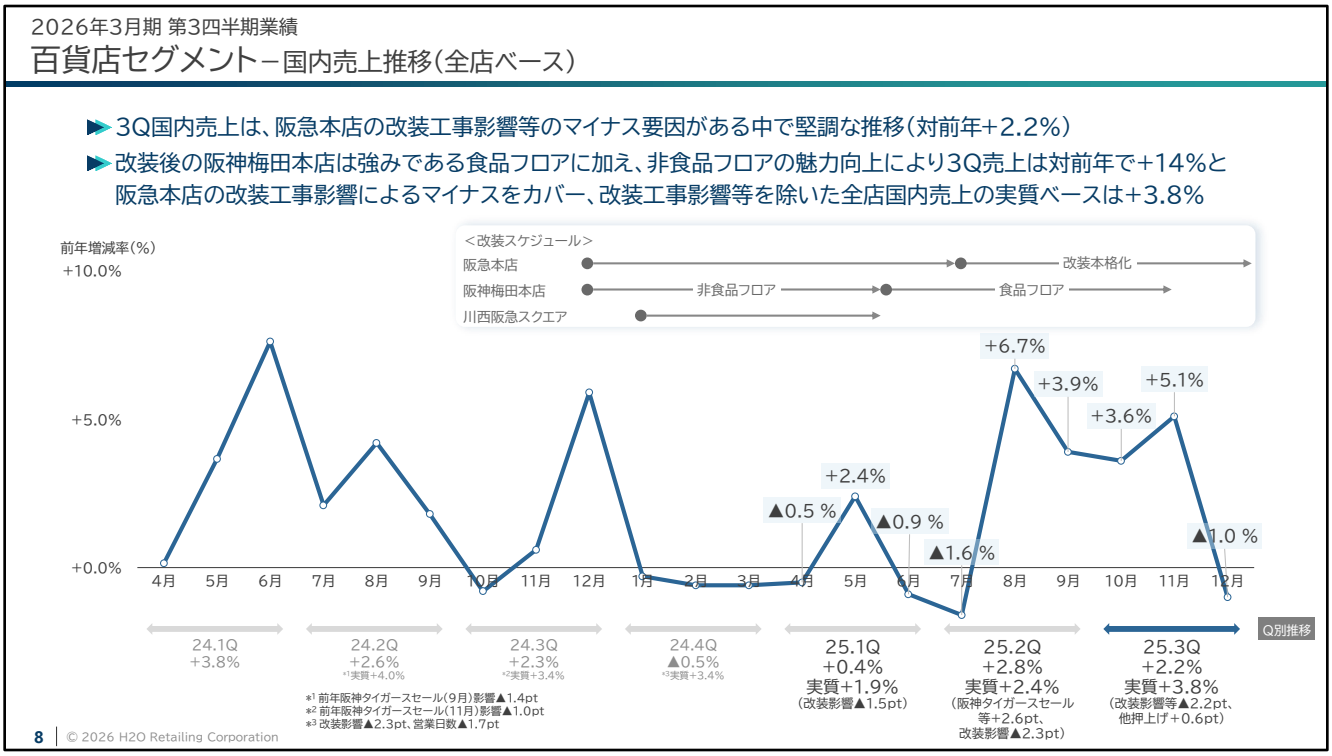
	1-3Q				3Q			
	24年度	25年度	前年増減率	前年増減	24年度	25年度	前年増減率	前年増減
総額売上高	4,816	4,633	▲3.8%	▲183	1,766	1,767	+0.0%	+1
売上高	1,463	1,401	▲4.2%	▲61	542	535	▲1.4%	▲8
売上総利益	1,054	1,012	▲4.0%	▲42	390	387	▲0.7%	▲3
販管費	822	835	+1.6%	+13	283	292	+3.0%	+8
営業利益	233	178	▲23.6%	▲55	107	95	▲10.3%	▲11

© 2026 H2O Retailing Corporation

- 続いて、セグメント別の業績についてご説明いたします。
  まず、百貨店事業からご説明いたします。

- 第3四半期累計では、先ほどからのご説明の通り、インバウンド売上の前年からの反動減に加え、阪急本店の改装に伴う売場縮小影響により、減収減益となりました。

- インバウンド売上及び国内売上の動向については後ほど詳細に説明いたしますが、第3四半期期間では、売上は前年並みの水準を維持しております。
  一方で、利益面につきましては、前年第4四半期期間に実施したPOSレジ切替えに伴う一時的な費用増に加え、人件費等の販管費増もあり、減益となりました。

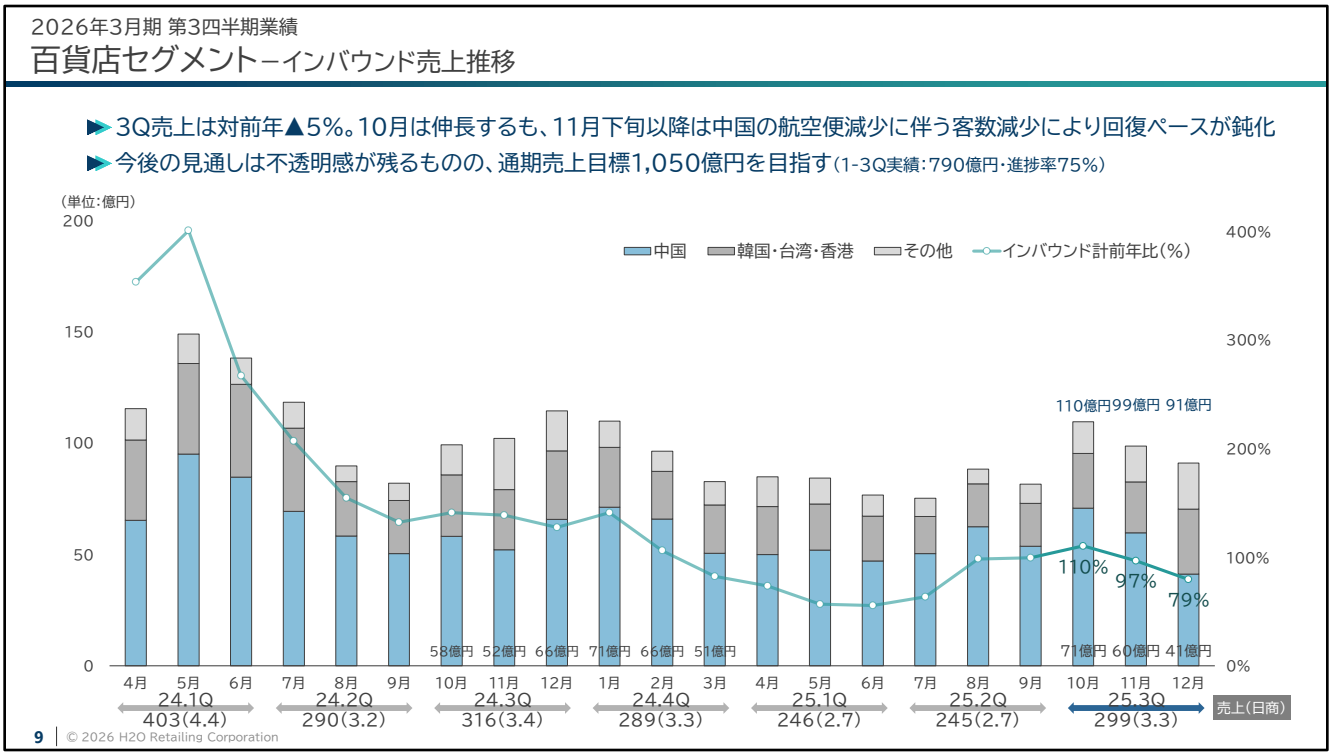


- 国内売上の動向についてご説明いたします。

- 第3四半期期間は、改装工事が本格化した阪急本店の売場縮小影響といったマイナス要因がある中でも、前年同期比で2.2%増と堅調に推移しました。

- 11月に全館改装が完了した阪神梅田本店では、強みである食品フロアのアップデートに加え、非食品フロアにおいても「ロフト」をはじめとした話題性の高い専門店が新規出店しました。これらの施策に加え、阪神タイガースの応援セールや改装効果による客数増も寄与し、10月から12月の売上は前年同期比で14%増と好調に推移しました。

- この結果、阪神梅田本店の改装効果が阪急本店の改装工事影響によるマイナスを一部カバーしており、改装工事影響等を除いた実力ベースの国内売上は、3.8%増となりました。



- インバウンド売上の動向についてご説明いたします。

- 10月は国慶節を追い風に前年から10%増と好調に推移しました。
一方で、11月下旬以降は、中国からの航空便の減便の影響を受け、中国顧客の客数が減少したことから、第3四半期期間は前年同期比5%減となりました。

- 中国からの訪日客の動向については、依然として不透明な状況が続いておりますが、当社では、外部環境の影響を受けにくいVIP顧客の売上拡大に向けた取り組みを継続しており、通期でインバウンド売上1,050億円を目指します。

2026年3月期 第3四半期業績

食品セグメント

- 食品スーパーの既存店売上は堅調継続、店舗展開を拡大している新店舗フォーマットが好調に進展
- 売上伸長により営業利益は3Q累計で10億円の増益、会社予想からも上振れ

（単位：億円）

	1-3Q				3Q			
	24年度	25年度	前年増減率	前年増減	24年度	25年度	前年増減率	前年増減
総額売上高	3,242	3,297	+1.7%	+55	1,130	1,137	+0.6%	+6
売上総利益	976	995	+1.9%	+18	340	345	+1.5%	+5
販管費	907	916	+0.9%	+8	307	308	+0.0%	+0
営業利益	69	79	+14.5%	+10	32	37	+15.3%	+5

1-3Q 食品スーパー既存店売上（前年増減率）、売上総利益率（前年増減）

- 点単価は高止まり、米価格の上昇は概ね一巡
- 3Qは10-11月堅調も、12月は年末商戦での天候影響もあり鈍化

新店舗フォーマット（A・Cタイプ）

- 新店舗フォーマットへの転換店舗は対前年+10%超と好調

Aタイプ（価値訴求型）
阪急オアシス マルシェ南千里店

Cタイプ（価格訴求型）
関西スーパー デイリーマート豊中南店

© 2026 H2O Retailing Corporation

- 次に、食品事業についてご説明いたします。

- 食品スーパーの既存店売上が引き続き堅調に推移したことで増収増益となりました。
- 堅調な売上を背景に、営業利益は第3四半期累計で10億円の増益、会社想定も上回って推移しています。

- 既存店売上につきましては、値上げに伴う客単価の上昇に加え、今年度より戦略的に進めている新店舗フォーマットへの転換店舗が成長を牽引しています。

- 売上総利益率は、共同の仕入れ・販促施策に加え、売上伸長により前年から改善しました。

2026年3月期 第3四半期業績

商業施設・その他セグメント

商業施設

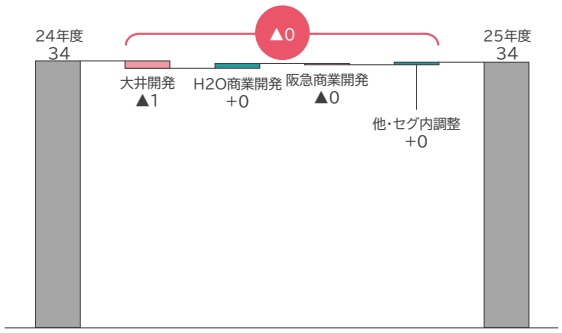
▶ 主力の大井開発(ビジネスホテル)が改装中でありながら、過去最高業績となった前年並みを維持し、会社想定を上回る

(単位:億円)

1-3Q	24年度	25年度	前年増減率	前年増減
総額売上高	247	228	▲7.5%	▲19
営業利益	34	34	▲0.2%	▲0

営業利益増減要因(対前年)

(単位:億円)



その他

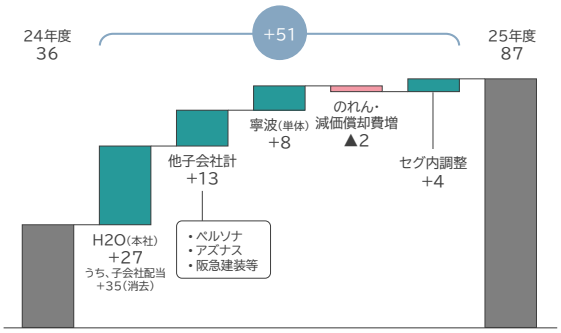
▶ 前年2Qに新規連結した寧波阪急が8億円の増益、各子会社も堅調に推移し、会社想定を上回る

(単位:億円)

1-3Q	24年度	25年度	前年増減率	前年増減
総額売上高	435	570	+31.2%	+136
営業利益	36	87	+142.1%	+51

営業利益増減要因(対前年)

(単位:億円)



© 2026 H2O Retailing Corporation

- 続いて、商業施設事業及びその他事業についてご説明いたします。

- 商業施設事業につきましては、主力であるビジネスホテル「アワーズイン阪急」を運営する大井開発において、客室改装工事を進める中でも概ね前年並みの業績を維持しました。
  セグメント全体でも過去最高業績となった前年実績とほぼ同水準で進捗しており、会社想定を上回る進捗となっております。

- その他事業では、寧波阪急が引き続き好調に推移したことなどから、第3四半期累計で8億円の増益となりました。
  また、カード事業のペルソナやエキナカコンビニのアズナスを中心に、各子会社も安定して増益となり、その他事業全体としても会社想定を上回りました。

Contents

1. 2026年3月期 第3四半期業績
2. **2026年3月期 業績予想**
3. Appendix

 © 2026 H2O Retailing Corporation

- 続いて、「2026年3月期 業績予想」についてご説明いたします。

連結業績予想

- 連結営業利益は3Q累計で会社予想を超過したものの、中国からの訪日客の動向や3月まで続く阪急本店の改装工事影響を鑑み、通期連結業績予想は据え置き
- 年間配当は期初公表通り、前年から2円増加の44円を計画

（単位：億円）

	1-4Q				4Q			
	24年度実績	25年度予想 10/31公表から修正なし	前年増減率	前年増減	24年度実績	25年度予想	前年増減率	前年増減
総額売上高	11,596	11,630	+0.3%	+34	2,857	2,902	+1.6%	+45
売上高	6,818	6,890	+1.1%	+72	1,669	1,731	+3.8%	+63
営業利益	348	300	▲13.9%	▲48	59	47	▲20.1%	▲12
経常利益	359	310	▲13.7%	▲49	59	45	▲24.5%	▲15
当期純利益	348	240	▲31.1%	▲108	▲26	▲50	–	▲23

© 2026 H2O Retailing Corporation

- 第3四半期は、各セグメントで会社予想を上回るなど全体としては順調な進捗となっております。
一方で、中国からの訪日客の動向は引き続き先行き不透明な状況が続いていること、また、旗艦店である阪急本店において3月まで改装工事の影響が続く見込みであることを踏まえ、通期連結業績予想につきましては、据え置きとしました。

- なお、年間配当につきましては、予定通り2円増配の44円を計画しております。

2026年3月期 業績予想

セグメント別業績予想

（単位：億円）

	1-4Q					4Q		
	24年度実績	25年度予想 10/31公表	25年度予想 2/4公表	（対前年） 上段：増減率 下段：増減	（対前回予想） 増減	24年度実績	25年度予想	増減
百貨店	6,350	6,131	6,131	▲3.4% ▲219	–	1,533	1,498	▲35
食品	4,285	4,395	4,395	+2.6% +110	–	1,043	1,098	+55
商業施設	318	302	302	▲4.8% ▲15	–	71	74	+3
その他	644	802	802	+24.5% +158	–	209	231	+22
総額売上高	11,596	11,630	11,630	+0.3% +34	–	2,857	2,902	+45
百貨店	282	230	230	▲18.4% ▲52	–	50	53	+3
食品	89	99	100	+11.8% +11	+1	20	21	+1
商業施設	39	37	37	▲6.2% ▲2	–	6	3	▲2
その他	22	62	62	+182.1% +40	–	▲14	▲25	▲11
連結調整	▲85	▲128	▲129	– ▲44	▲1	▲3	▲5	▲2
営業利益	348	300	300	▲13.9% ▲48	–	59	47	▲12

© 2026 H2O Retailing Corporation

- セグメント別の業績予想はご覧の通りでございますが、好調に推移している食品事業については上方修正しており、ひとまずの経営目標であったセグメント営業利益100億円を今年度達成したいと考えております。

- 私からの説明は以上です。ありがとうございました。

Contents

1. 2026年3月期 第3四半期業績
2. 2026年3月期 業績予想
3. **Appendix**

© 2026 H2O Retailing Corporation

連結業績推移

（単位：億円）

	24年度				25年度					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減	2Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減	3Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減
総額売上高	2,764	2,821	3,155	2,857	2,733	▲1.1% ▲31	2,821	+0.0% +0	3,174	+0.6% +19
売上高	1,619	1,694	1,836	1,669	1,636	+1.1% +17	1,694	+0.0% +0	1,828	▲0.4% ▲8
営業利益	93	57	139	59	55	▲40.6% ▲38	64	+10.8% +6	134	▲3.5% ▲5
経常利益	102	57	140	59	61	▲39.8% ▲41	63	+9.3% +5	141	+0.5% +1
当期純利益	265	6	104	▲26	40	▲85.0% ▲225	29	+369.0% +23	221	+112.2% +117

© 2026 H2O Retailing Corporation

セグメント別業績推移

（単位：億円）

	24年度				25年度					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減	2Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減	3Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減
百貨店	1,554	1,496	1,766	1,533	1,393	▲10.3% ▲160	1,472	▲1.6% ▲24	1,767	+0.0% +1
食品	1,034	1,078	1,130	1,043	1,064	+2.9% +30	1,096	+1.7% +18	1,137	+0.6% +6
商業施設	82	78	87	71	75	▲8.4% ▲7	72	▲7.3% ▲6	81	▲6.8% ▲6
その他	94	169	172	209	200	+113.3% +106	181	+6.9% +12	190	+10.4% +18
総額売上高	2,764	2,821	3,155	2,857	2,733	▲1.1% ▲31	2,821	+0.0% +0	3,174	+0.6% +19
百貨店	80	47	107	50	35	▲56.6% ▲45	48	+2.8% +1	95	▲10.3% ▲11
食品	15	21	32	20	21	+35.7% +6	21	▲1.8% ▲0	37	+15.3% +5
商業施設	13	8	12	6	13	▲2.9% ▲0	8	▲0.5% ▲0	13	+2.8% +0
その他	66	▲18	▲12	▲14	105	+60.1% +40	▲12	– +6	▲6	– +5
連結調整	▲82	▲0	▲0	▲3	▲119	– ▲37	▲1	– ▲1	▲5	– ▲4
営業利益	93	57	139	59	55	▲40.6% ▲38	64	+10.8% +6	134	▲3.5% ▲5

© 2026 H2O Retailing Corporation

セグメント別業績推移－百貨店

（単位：億円）

	24年度				25年度					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減	2Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減	3Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減
総額売上高	1,554	1,496	1,766	1,533	1,393	▲10.3% ▲160	1,472	▲1.6% ▲24	1,767	+0.0% +1
売上高	457	463	542	459	417	▲8.9% ▲41	450	▲2.8% ▲13	535	▲1.4% ▲8
売上総利益	338	327	390	330	305	▲9.8% ▲33	321	▲1.8% ▲6	387	▲0.7% ▲3
販管費	259	280	283	281	270	+4.6% +12	273	▲2.6% ▲7	292	+3.0% +8
営業利益	80	47	107	50	35	▲56.6% ▲45	48	+2.8% +1	95	▲10.3% ▲11

© 2026 H2O Retailing Corporation

セグメント別業績推移－食品

（単位：億円）

	24年度				25年度					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減	2Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減	3Q	（対前年） 上段：増減率 下段：増減
総額売上高	1,034	1,078	1,130	1,043	1,064	+2.9% +30	1,096	+1.7% +18	1,137	+0.6% +6
売上高	995	1,038	1,086	1,007	1,023	+2.8% +28	1,054	+1.6% +17	1,090	+0.4% +4
売上総利益	311	326	340	318	320	+3.1% +10	330	+1.2% +4	345	+1.5% +5
販管費	295	305	307	298	299	+1.4% +4	309	+1.4% +4	308	+0.0% +0
営業利益	15	21	32	20	21	+35.7% +6	21	▲1.8% ▲0	37	+15.3% +5

© 2026 H2O Retailing Corporation

営業外損益・特別損益

（単位：億円）

1-3Q	24年度	25年度	前年増減	主な増減	
営業利益	289	253	▲36		
営業外損益	11	13	+2	・受取配当金の減少 ・為替影響による減少 ・持分法による投資利益の減少 ・子会社株式取得関連費用の減少	▲2 ▲2 ▲1 +7
経常利益	300	265	▲35		
特別損益	235	114	▲122	・補助金収入の増加 ・段階取得に係る差益の減少 ・固定資産売却益の減少 ・子会社株式売却益の減少 ・投資有価証券売却益の減少	+10 ▲80 ▲26 ▲17 ▲8
税引前利益	535	379	▲156		
法人税、非支配株主損益	161	89	▲71		
当期純利益	374	290	▲85		

© 2026 H2O Retailing Corporation

設備投資・減価償却費

設備投資

（単位：億円）

	1-3Q			1-4Q	
	24年度実績	25年度実績	主な内容	25年度予想	24年度実績
百貨店	31	57	阪急本店・阪神梅田本店・川西阪急スクエア改装	144	60
食品	47	33	食品スーパー 新規出店・店舗改装	63	65
商業施設	13	15	大井開発 客室改装工事	26	21
その他	111	62	エイチ・ツー・オー リテイリング システム投資	161	173
IT・DX	83	54		123	123
寧波	23	1		14	43
連結合計	197	167		395	313

減価償却費

（単位：億円）

	1-3Q			1-4Q
	24年度	25年度	前年増減	24年度
連結合計	166	184	+18	235

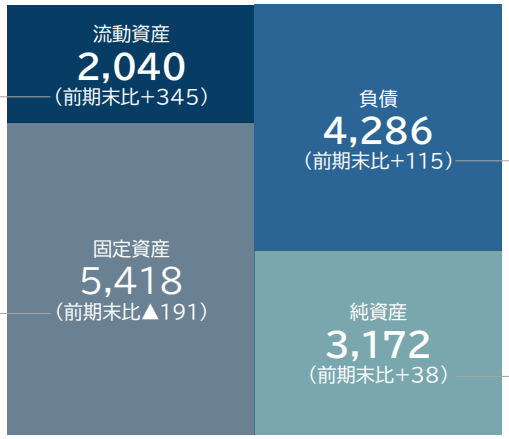
© 2026 H2O Retailing Corporation

連結B/S

▶▶ 投資有価証券の売却により、流動資産及び純資産が増加。自己株式は144億円増加。

（単位：億円）

総資産7,458（前期末比+153）



<主要な増減>
- 現金及び預金の増加 +217
- 売掛金の増加 +120

<主要な増減>
- 買掛金の増加 +234
- 未払法人税等その他負債▲111

<主要な増減>
- 有形固定資産の減少 ▲51
- 投資有価証券の減少 ▲78
- 繰延税金資産の減少 ▲44

<主要な増減>
- 利益剰余金の増加 +237
- 自己株式の増加 ▲144
- その他の包括利益累計額の減少 ▲57

自己資本比率41%（前期末41%）

© 2026 H2O Retailing Corporation

2026年3月期 通期決算発表は、
2026年5月12日を予定しております。

© 2026 H2O Retailing Corporation